

令和6年度 養護教育委員会研究（事業）概要の報告

委員長	小林早百合	(木曾町中学校)
副委員長	池口真由美	(南木曾小学校)
委員	小林 望見	(木祖中学校)
委員	黒田 直美	(日義小中学校)

1 本年度の研究（事業）概要

【研究テーマ】

木曾の子どもたちに生じている心身の健康上の問題を解決するための支援のあり方や保健室経営、感染対策について考える。

(1) 第1回木曾郡養護教諭研修会

6月12日（水）（郡研修日） 14時10分～16時30分 会場：木曾教育会館

目的 令和7・8年度県学校保健会養護教諭部会に関わる木曾郡としての活動の在り方を考え準備を行って行く。また、情報交換を通して養護教諭の横の繋がりを深めていきたい。

内容 ①養護教育委員会活動についての協議・確認

- ・木曾郡統計について
- ・令和7、8年度木曾教育会の委員会活動について
- ・郡研究発表について

②養護教諭育成支援リーダー研修 情報伝達 等

③日常執務の情報交換

(2) 木曾郡保健主事・養護教諭合同研修会

11月6日（水）（郡研修日） 14時10分～16時30分 会場：木曾教育会館

目的・外部講師によるがん教育について学び、選択肢のひとつとして各校の状況に合わせたがん教育の取り組みの参考としたい。

- ・保健室登校・保健室利用をする児童生徒への支援について事例を通して学びを深める。

内容 ①がん教育について ・講話 県立木曾病院 内科医師 小泉 知展先生
・各校の様子

②児童生徒の心のケア ～保健室としてできること～ 事例検討・情報交換

③日常執務の情報交換

(3) 第3回木曾郡養護教諭研修会

2月4日（火） 14時10分～16時40分 会場：木曾教育会館 （予定）

目的 学校保健活動について現状と課題についての講義から学びを深める。

内容 ①講義『学校保健の現状と課題』

講師 保健厚生課指導主事 笠井 佳代子先生

②日常執務についての情報交換

2 明らかになったこと、有益であったこと

(1) 研修を通して養護教諭としての資質を高める

- ・多様化する児童生徒の健康課題に対応するため、講義・情報伝達等を通して養護教諭としての専門性を培う研修の場は必要である。年3回の研修会にご協力いただきありがたかった。
- ・がん教育について、児童生徒・保護者・学校の状況を考え、外部講師による学習も選択肢に入れながら、校内でよく検討しそれぞれの学校に合わせた計画を進めていくことの大切さを学ぶことができた。
- ・保健室で関わる児童生徒の事例を通して学び合うことができた。児童生徒一人ひとりに寄り添った支援の仕方を校内で検討・共有していくことが必要であり、保健室で抱え込まないように情報交換・連携を大切にしていきたい。

(2) 情報交換の場を大切に考える

- ・養護教諭は学校に一人の職種であるため、情報交換をして互いに学び合う研修会の時間は大事であり今後も設定していく。
- ・情報交換をしながら日常の悩みを相談し、気軽に話ができる養護教諭の横の繋がりを大切にしたい。

3 今後の課題

- (1) 感染症に関する最新情報の把握と対応を的確に行う。
- (2) 養護教諭としての資質を高めるため、会員の要望、現代における健康課題等を大切にしながら、充実した研修を行っていく。
- (3) 郡内高校の養護教諭との情報交換の場を適宜設定し、連携していく。

4 次年度の活動・研究

- ・研修・情報交換の場を検討していく
- ・長野県学校保健会養護教諭部会の活動に協力して取り組んでいく